

## 成果発表会の実施報告

### 概要

開催日時：平成 24 年 2 月 20 日（月） 13 時 00 分～17 時 30 分

場所：(財)日本交通公社 会議室

### 出席者

(1)重点観光圏内の人材育成対象者（15 名、下表参照）

観光圏	氏名	所属
富良野・美瑛広域	石川 芳	(社)ふらの観光協会
はこだて	小林 功	(株)函館観光コンシェルジュセンター
はこだて	渡邊 学	函館市観光コンベンション部観光振興課
八ヶ岳	小池 春美	(財)みずがき山ふるさと振興財団
八ヶ岳	荒井 達也	小淵沢アートヴィレッジ
伊豆	増田 健太郎	(株)タクト
にし阿波	丸岡 進	徳島県西部総合県民局 にぎわい交流・観光担当
にし阿波	大平 修司	大歩危峡観光船有限会社
にし阿波	三木 信行	一般社団法人そらの郷 事務局
平戸・佐世保・西海ロングステイ	松瀬 千秋	(社)平戸観光協会
玄界灘	井上 充	(社)唐津観光協会
玄界灘	井上 正治	糸島市商工観光課観光振興係
阿蘇くじゅう	藏原 浩太	阿蘇市観光協会
阿蘇くじゅう	工藤 隆浩	竹田市観光ツーリズム協会
新東九州	浅利 善然	(株)まちづくり佐伯

(2)検討会委員（4 名）

清水座長、竹林委員、山下委員、福井委員

(3)観光庁、事務局（7 名）

### プログラム

13:00 開会挨拶

(1) 13:05～13:50 ガイドライン案についての説明と質疑応答

説明者：事務局（JTBF）

(2) 14:00～15:15 モデル講義

講師：山下委員、竹林委員

重点観光圏の参加者を 2 グループに分類し（8 名程度×2 グループ）、2 部屋に分かれて両委員の講義を同時に実施した。

(3) 15:35～17:30 グループ討議、全体ディスカッション

全体コーディネーター：清水座長

「中核人材を地域で発掘・育成し、増やしていくにはどうしたらよいか？」

「そのために、今回のケース動画等をどのように活用していったらよいか？（どんな育成プログラムがよいか？）」

上記 2 点について、モデル講義時に分かれた 2 グループごとにグループ討議を行った。その結果を各グループが発表し、全体で議論を行った。

## 出席者の反応

### (1)ガイドライン案について（質疑応答より）

- ・人材を育成するための財源は、観光協会やプラットフォームが担うことになると思うが、誰が負担するのか。
- ・地域の状況にもよるが、成熟した観光地の場合は、観光協会が人材育成に手が回らないこともある。また、人材育成というと旅館やホテルの経営人材を意識してしまう面がある。活動の初期段階は、行政がメンター的な役割となって入ってもらいと、話が進みやすいことがあった。

### (2)モデル講義・ケース動画の活用について（事後アンケートより抜粋）

- ・人物の背景、地域の状況とともに講義を行って頂いたので、大変有意義な内容になった。
- ・行政、観光協会で見るとはなく、観光に携わる民間の方に見せたい。行政主体のまちおこしではなく、民間からの熱を入れるのに使ってみたい。
- ・登場人物のバックグラウンドや地域のバックグラウンド（課題等）も合って、その解決のプロセスが見えたら、もっと良いのでは。
- ・各地域の地域づくりグループ会合に使いたい。（コミュニケーションでの材料にもなる。）
- ・講師の意見交換と動画を交互に適時サンドイッチ型で行うワークショップは効果的であると実感しました。

## 当日の様様



開会挨拶



ガイドライン案についての説明



山下委員 モデル講義



竹林委員 モデル講義



グループ討議



全体ディスカッション